みんなの声で育てよう わたしたちのパルコープ

2009年通常総代会　会場発言の要旨（順不同）

歌う組合員活動を通じてサークル レインボーコーラス

大阪B選挙区　総代
川嶋恵里子さん

レインボーコーラスは今年、発足28年になります。昨年は日本のうたごえ協議会の合唱発表会で賞ももらいました。これまで、さまざまなとりくみに歌で参加、母の思い、女性の思い、そして平和への思いを声に乗せて届けたい。音楽面は深く追求し、組合員活動もしっかり協力。これからもいきいきとサークル活動し、パルコープとともに歌い続けていきたいと思います。

ユニバーサルデザインのまちづくり活動in交野

大東市・四條畷市・交野市選挙区　総代
北村富士代さん

交野行政区委員会は08年度、日本生協連の生協福祉活動推進助成金を受け「交野市のまちづくりをみんなで考え実現する」をテーマとした活動にとりくみました。くらしの夢や希望を描くワークショップを開き、物語と童話の作品に仕上げ、交野市の総合計画の資料となる「わたしと交野・くらしの夢」に応募しました。これからも、行政区委員会としてまちづくり活動に参画していきたいです。

さざ波の活動から

大阪A選挙区　総代
山田美登里さん

「視覚障がい者の情報収集のあり方」をテーマに「障がいのあるなしに関わらず、同じ情報を共有できるように」活動しています。そのひとつとして、携帯電話のカメラ機能を使って商品についているQRコードを読み取る訓練を続けています。さらに、QRコードの内容充実をメーカーに要請したり、さざ波メンバー以外の方にも読み取りマニュアルを作成し講習会を開催しています。

「いきいき昼食会」を通して

大阪C選挙区　総代
中辻　正子さん

私は「いきいき昼食会阿倍野」で調理ボランティアをしています。私たち「阿倍野」では工場見学や料理教室などをし、早10年経ちますが、最近は参加される方も少なく、今後続けられるか心配する一方です。しかし組合員以外の方の参加要望もあります。これからも大勢の方に参加していただけるようがんばっていきたいです。また、阿倍野組合員会館にはエレベーターがありません。足腰の不自由な方には参加しづらいので考えていただきたいです。

声の商品案内もデジタルに…

大阪C選挙区　総代
徳谷英津子さん

視覚障がい組合員のための商品案内を吹き込んでいるカセットテープなどの製造が終わりつつあり、CDに変えざるを得なくなりました。CDは聞きたいページに飛べ、「商品を選びやすくなった」という声と、カセットテープに慣れた人は「やっぱりカセットの方がええわ！」といて、グループでは2、3年前から組合員の声を聞きながら啓蒙活動を進めてきました。登録者108人のうち105人がCDを使っています。今後も視覚障がい組合員へのサポートを続けていきたいです。

笑顔の仲人 パルコープ

大阪A選挙区　総代
又野　貴世さん

パルコープのすごい所は生産者と消費者とのコミニュケーションがすぐにとれ、距離が近いこと。だから商品を選ぶときも値段や見た目等だけでなく商品の向こう側のドラマを知った上で判断でき、生産者と消費者がお互い感謝して両方が笑顔に、いわば両想いの関係になれると思います。仲人のようなパルコープの役割に期待します。

子育て支援の更なる充実で子育て世代から信頼されるパルコープをめざして

寝屋川市・守口市・門真市選挙区　総代
池原　房子さん

子育て研究会からの子育て支援活動は6年を経て、09年度より「子育てサポートステーション」になります。子育てひろばは5つあります。それぞれ産みの苦しみ、育ての苦しみがあり、その先に喜び・課題もいっぱいあります。08年度はお父さんにも子育てを考えていただきたいと子育てセミナーを開催し、09年度は食育活動「たべるたいせつキッズクラブ」にもとりくみ、子育て支援とは？を考え、常設型広場の開設など、子育て世代を応援する活動の展開を望んでいます。

新物流センターと新鶴見支所を見学しての期待と抱負

大阪B選挙区　総代
角屋　裕美さん

待ちに待った物流センターがオープン。ドライ商品の仕分けにソーターシステムを導入し、個人ピックが実現したことはうれしいことです。センター内の温度管理の強化や、検査室も移転併設され、今まで以上に安全に届くシステムに期待しています。新しい鶴見支所では、近隣の住宅に配慮され、音の静かなシャッターや圧迫感を与えない生け垣が施されていました。不況でくらしも大変ですが、みんなで利用の輪を広げ職員とともにがんばりましょう。

役員選挙にあたって

大阪B選挙区　総代
足立美恵子さん

事業経営が厳しくなるであろうこの時期に、常勤理事の方々は責任をもって、組合員みんなのために事業を進めてください。そして大変な時期だからこそ組合員も力を合わせて自分たちの生協を、自分たちのくらしを守っていかなければなりません。組合員理事にはみんなの意見を真摯に受け止め、それを組合員の立場で考え、事業経営に生かしていただけることを期待します。

産地との信頼関係 私たちにできること

大阪C選挙区　総代
増田　清美さん

食の安全を守るとりくみの一つとして、たくさんの組合員活動委員のメンバーが産地を訪問しました。私も岡山のイサミ吉備高原牧場とおかやま酪農の産地を見学しました。産地へ出向き、生産者のあつい想い、大変な状況を自分の目で確かめることは本当に大事なことです。それを地域で学びあい、多くの組合員と共有し、少しでもたくさんの利用があるよう努力したいと思っています。

パルコープに期待する子育て支援

大阪D選挙区　総代
松島　幸子さん

第二号議案の常設型子育て広場の今年度開催は最善でしょうか？既存のパルちゃん広場の問題解決も大切だと思います。それより、広場にも参加できず、悶々とした気持ちですごしている親子がパルコープエリアにもいるはずです。子育てしている組合員のもとを子育て支援のスタッフが訪問して、育児の助言や情報提供を行なう「子育て出前相談」を実施し、悩みを抱えた親と子を救ってあげてください。

私たちの町にも店舗を！

大阪C選挙区　総代
丸山　晴美さん

つるみに新しい店舗ができたと聞いて見学に行ってきました。私の住んでいる市内の南の地域には店舗は一つもありません。南の地域の組合員さんは私もそうだったように、店舗があることすら知らない人がいっぱいいると思います。生協を利用してみたいけど、配送が無理な人のためにも、ぜひ市内の南の地域で、電車に乗っていかなくてもいい所に店舗を早く作ってください。

低炭素社会の実現をめざして、生協のできること

大阪A選挙区　総代
武田智津枝さん

低炭素社会をめざし生協の出来ることは、事業の面ではフードマイレージを減らす観点から、より近くから開発・仕入れをする。活動の面では生協が低炭素社会をめざし事業等をしていることを組合員に知らせ、商品利用でそれに参加しているということ、また国産品・地産地消の商品を買うということ、農家が持続できる仕組みづくりに関心を持っていくことを活動の中で伝えていきたいと思います。